

戸吹クリーン通信

不燃物処理センター更新工事がしゅん工しました。

戸吹不燃物処理センターの更新工事が平成27年2月27日にしゅん工し、試運転期間を経て平成27年4月より本格稼働を開始しました。これまでの設備では回収できなかった資源物が、手選別作業を導入して細かく分別し、回収することが可能になりました。



手選別作業の様子

ごみの中から資源をより多く回収するには、とても多くの人手と手間を必要とします。今回のクリーン通信では、戸吹不燃物処理センターで行われている数々の選別作業をご案内します。センターに集まる不燃ごみが選別されていく過程を、不燃ごみ・粗大ごみ収集車が集めて来たごみを例に説明します。

①搬入時の選別

粗大ごみは、種類ごとに決められた場所に並べて置きます。収集作業員による選別作業です。



種類別置場の様子

②プラットホームでの粗選別

粗大ごみを置いた作業員は、直接ごみ貯留ピットに投入せずプラットホームに排出します。ここからはセンターの運転管理作業員が引き継ぎます。作業員はごみの中から機械に詰まり易い長い金属や傘、家電製品等を見つけて抜き出します。

これを粗選別作業といいます。



長い金属・傘



家電製品



粗選別作業の様子

③機械による選別

粗選別したごみはプラント設備に投入されます。ここからは運転員が機械による選別を行います。ごみクレーンで投入し、収集袋を破き、ごみ袋等の可燃ごみを選別します。



ごみクレーン



破袋機



可燃物選別機



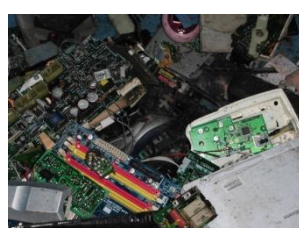
中央操作室

④手選別により資源化される主なもの

機械による選別によって、ごみの中からビニール袋やプラスチック類、鉄類を選別した後、それ以上の細かい分別は手選別作業によって人の目で判断してリサイクルしています。



金属類



小型家電



ガラス・陶磁器

⑤今後の課題

不燃ごみの処理工場なので、刃物やガラス片等の危険なものも入っていますが、現在最も危惧しているのは、ごみの中に注射針などの医療系廃棄物が多く見られる事です。これらは二次感染の危険があるものなので、絶対に混入することの無いように、市民の皆様には分別のご協力をお願いします。職員は内容物の調査を行い、このような混入が無くなるように啓発活動等に努めてまいります。



内容物調査の様子